

# 丹鉄ファンド等 北近畿エリアでの取り組みについて

# 京都丹後鉄道での取り組み

## [1] 2015年4月1日運行開始



<b>第一種 鉄道事業</b>	運行	
	運営	
	インフラ (資産)保有	<ul style="list-style-type: none"> <li>•施設</li> <li>•車両</li> <li>•用地</li> </ul>

<b>第二種 鉄道事業</b>	運行	
	運営	

2015年4月上下分離

<b>第三種 鉄道事業</b>	インフラ (資産)保有	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>•施設</li> <li>•車両</li> <li>•用地</li> </ul>	



# 京都丹後鉄道での取り組み

## [2] 運行開始からこれまで

### 1. 域内交通・域外交通の活性化

#### ① 企画乗車券の拡充(ターゲットやニーズに合わせた商品展開)

観光客

[4社パス]  
北近畿エリアで  
利用できる路線バス・  
鉄道の3日間乗り放題券

地域  
住民  
(高齢者)

[安心通院ペア乗車券]  
1人分の料金の2人の  
乗車が可能。  
(通院される方+付き添い人)

地域  
住民  
(家族)

[週末ファミリーパス]  
大人2名+小児2名まで  
丹鉄全線1日乗り放題券

#### ② 高速バス+鉄道のセット商品販売

#### ③ ダイヤ改正

- ・1時間に1本運行の実現
- ・一部普通列車を快速列車に変更し、運行時間最大26分短縮
- ・観光列車のダイヤ改正で天橋立の観光時間を拡大

交通

<利便性追求>

×

マーケティング

<ターゲット、行動特性・ニーズ分析>

=

新たな  
需要の創出

沿線住民・観光客が使いやすい鉄道

WILLER GROUP

always new, challenge next.

Copyright (c) WILLER ALLIANCE, INC. All Rights Reserved

# 京都丹後鉄道での取り組み

## [2] 運行開始からこれまで

### 2. 地域との連携

#### ① イベントの開催(大丹鉄まつり)

- ・丹鉄マルシェ・全国グルメ市
- ・大抽選会
- ・鉄道・高速バスのりものイベント
- ・キャラクターショー

→ 来場者数:約1万人



#### ② 地域住民参加型の旅行商品の企画・実施(丹後くろまつ号)

- ・地域に住む生産者や料理人が、直接お客様に料理やサービスを提供

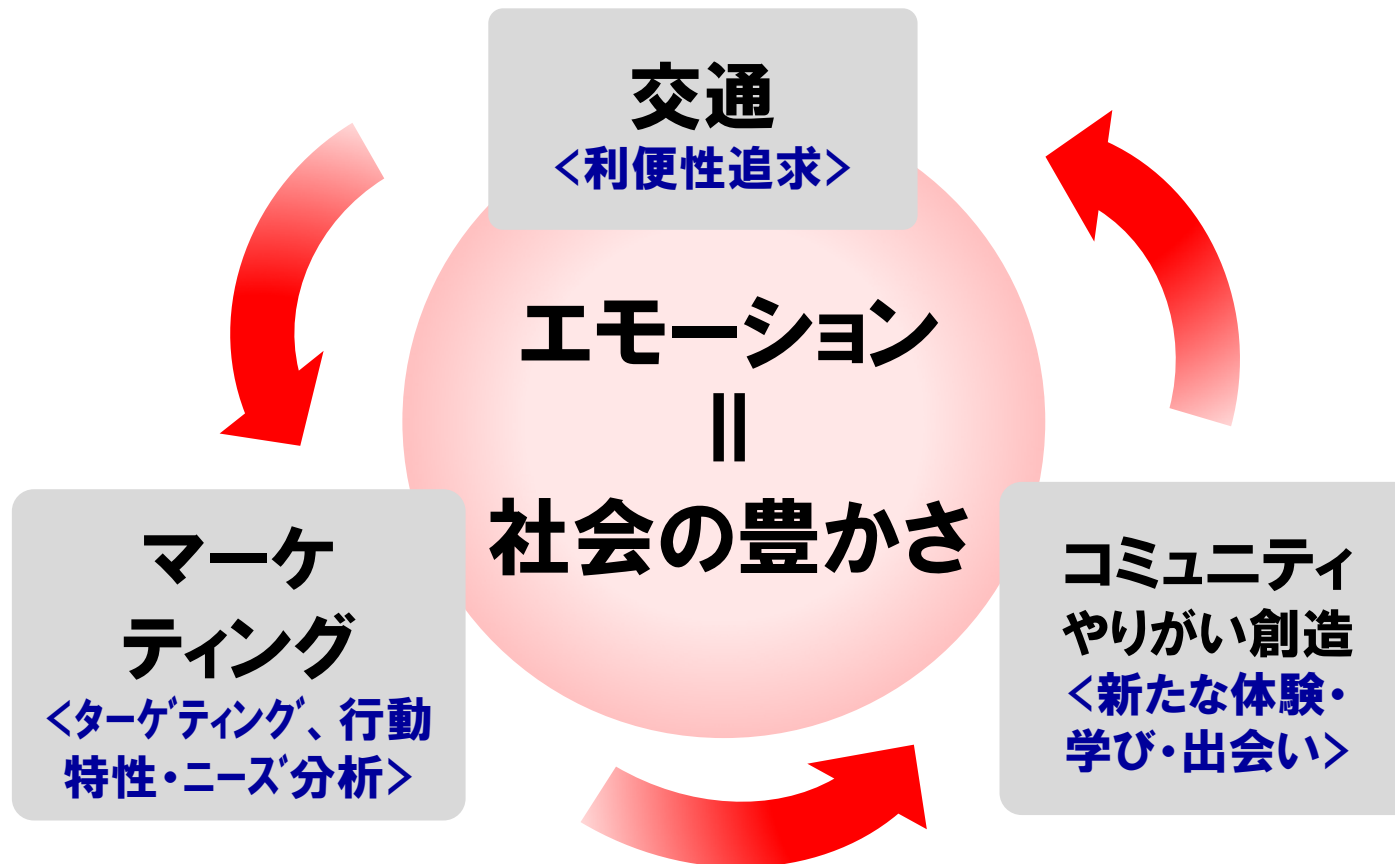


コミュニティ・やりがい創造  
〈新たな体験・学び・出会い・笑顔〉

=

地域活性化  
につながる

# WILLER GROUPが考える地方創生



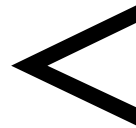
継続的に回る仕組みの構築が重要

①丹鉄ファンド ②鉄道ビジネススクール

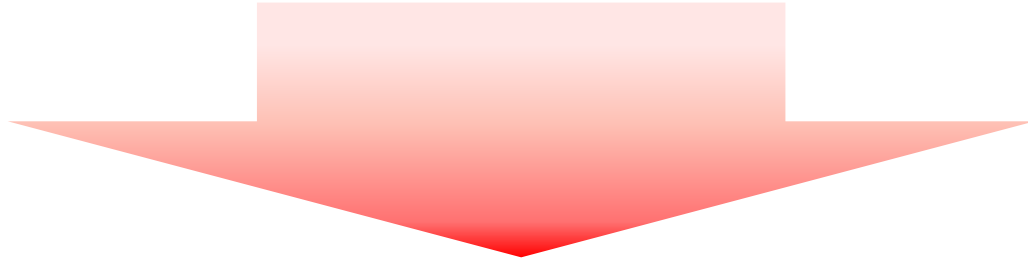
# 地域に雇用よりも起業家を育てる

## ▼現状の地域が抱える課題

条件の良い雇用体制にしても働き人が集まらない



単なる労働ではなく、目的や生きがいを求めている



地方に雇用よりも、起業できる機会を創出することが必要

人材育成

+

投資



① 鉄道ビジネススクール



② 丹鉄ファンド

# ① 鉄道ビジネススクール

地域に根付いた収益モデルをしっかりと生み出せる  
人材育成と確保をするためのスクールを開講

日程	講義内容	会場(予定)
第1階 5月24日(火)	丹後エリアの歴史や地域の特性、産業、課題などの地域情報についての解説	福知山市
第2回 5月31日(火)	地域ビジネスの企画の作り方、地域ビジネスとは？	宮津市
第3回 6月 8日(水)	地域の声を聴く。 地域の一次産業や観光業等の各ポイントの特徴を学ぶ	京丹後市
第4回 6月26日(日)	1Dayフィールドワーク	丹鉄沿線
第5回 7月 6日(水)	中間発表	豊岡市
第6回 7月11日(月)	コミュニケーションとマーケティング	舞鶴市
第7回 7月20日(水)	地域ビジネス、コミュニティビジネスの財務、ビジネススキーム	与謝野町
第8回 8月 2日(火)	最終発表	宮津市

募集人数:20名程度

受講料:1クール8回 30,000円

WILLER GROUP

always new, challenge next.

Copyright (c) WILLER ALLIANCE, INC. All Rights Reserved

## ② 丹鉄ファンド

WILLER **W** CORPORATION

日本初の投資型鉄道ファンド

umarī  
Capital

鉄道ファン アイディアを実現

### 投資ポリシー

丹鉄の乗客の皆さんが  
より楽しくなるビジネス

沿線の地域の人々が  
快適になったり  
交流が生まれる  
きっかけとなるビジネス

外国人の観光客や  
地域外の方が  
興味を持って  
丹鉄沿線を訪れる  
きっかけとなるビジネス

地域の人々が  
関わることでできる  
仕事につながるビジネス

一件当たりの投資額 300万～2,000万程度を想定

京都丹後鉄道の駅ナカ、鉄道車内、丹鉄沿線の価値向上

京都丹後鉄道沿線の地方創生

+

全国展開

認知度向上・沿線住民の方の地元愛の醸成



# 今後の取り組み

## ③ 地域の食の魅力を発信「にっぽんトラベルレストラン」

- FITをターゲットにした観光に特化した交通の開発をする。
- 魅力的な地方の「食」の魅力・情報発信。
- 地域の農家や漁師、料理人の方々を地域のキーマンとして育てる。

### 丹後くろまつ号



食を通じて丹鉄沿線の魅力を  
体験・体感できる食堂列車

### レストランバス



絶景を楽しみながら、その土地の生産者や料理人と  
交流をし、旬な素材を楽しむ移動型レストラン。



WILLER GROUP  
always new, challenge next.

バス1階: キッチン

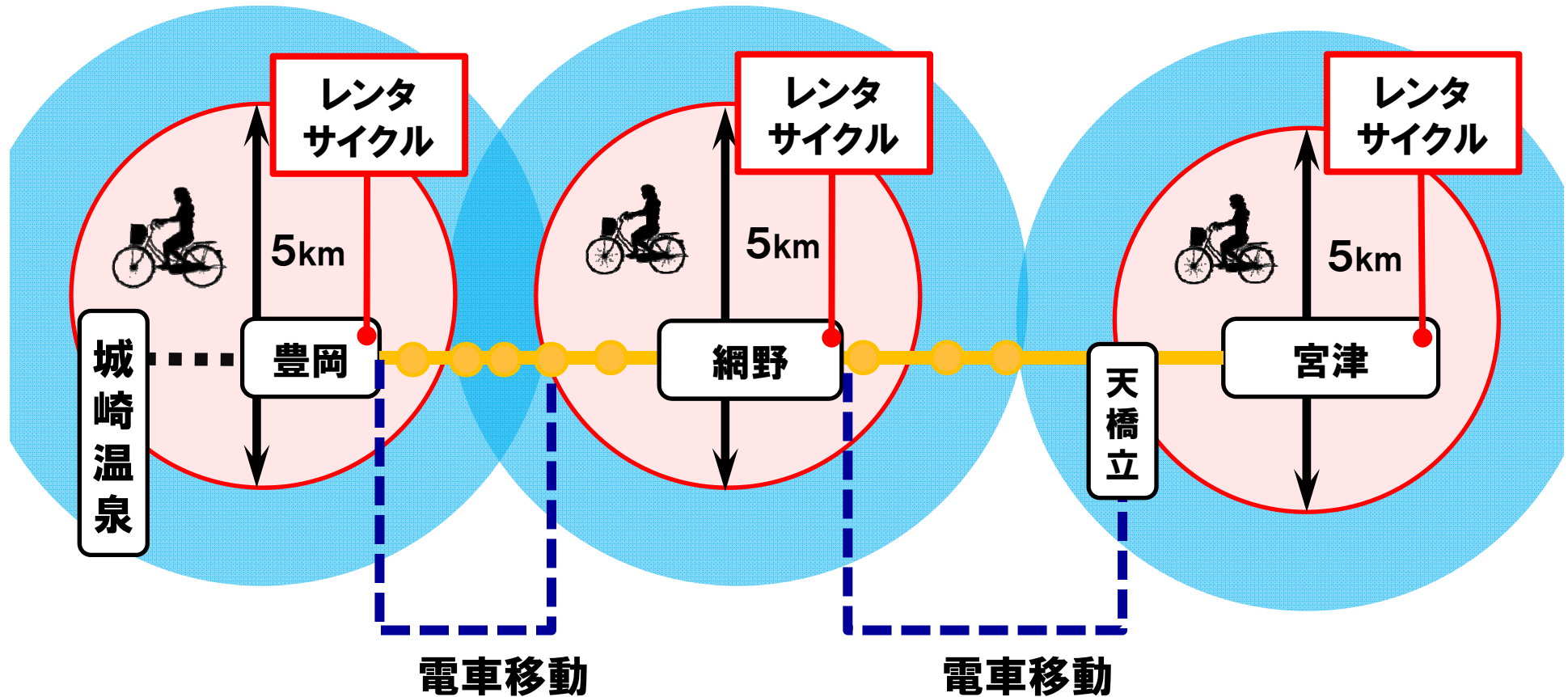
バス2階: 客席

Copyright (c) WILLER ALLIANCE, INC. All Rights Reserved

# 今後の取り組み

## ② レンタサイクル(ラストワンマイル)

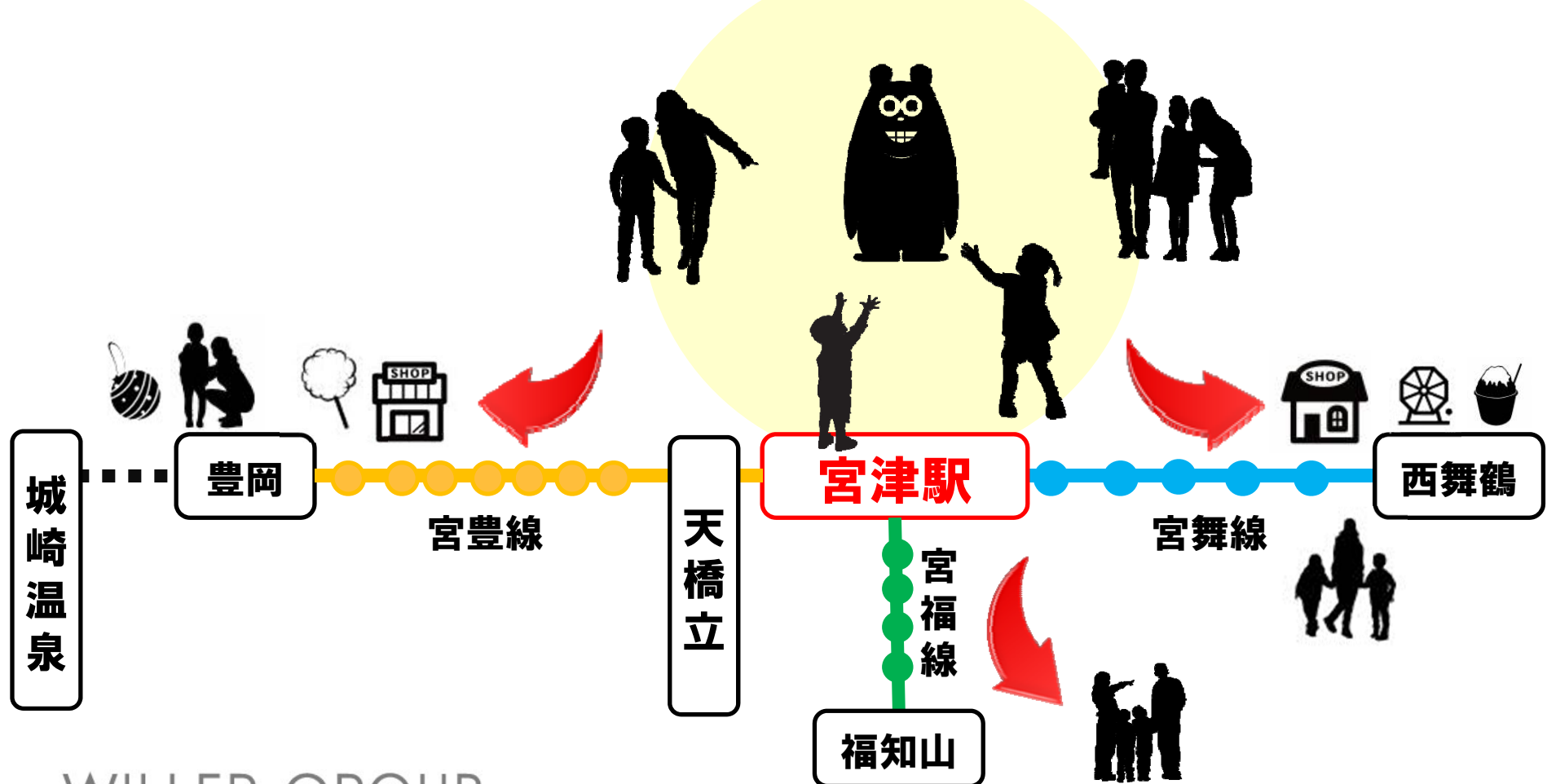
- 地方で困る駅からのラストワンマイルを解消する
- レンタサイクル1日利用券1,500円  
(スマホ、ICカードで各駅のレンタサイクルの鍵を開けるシステムを開発)



# 今後の取り組み

## ① 人々が集い、まちに繰り出すイベントの実施

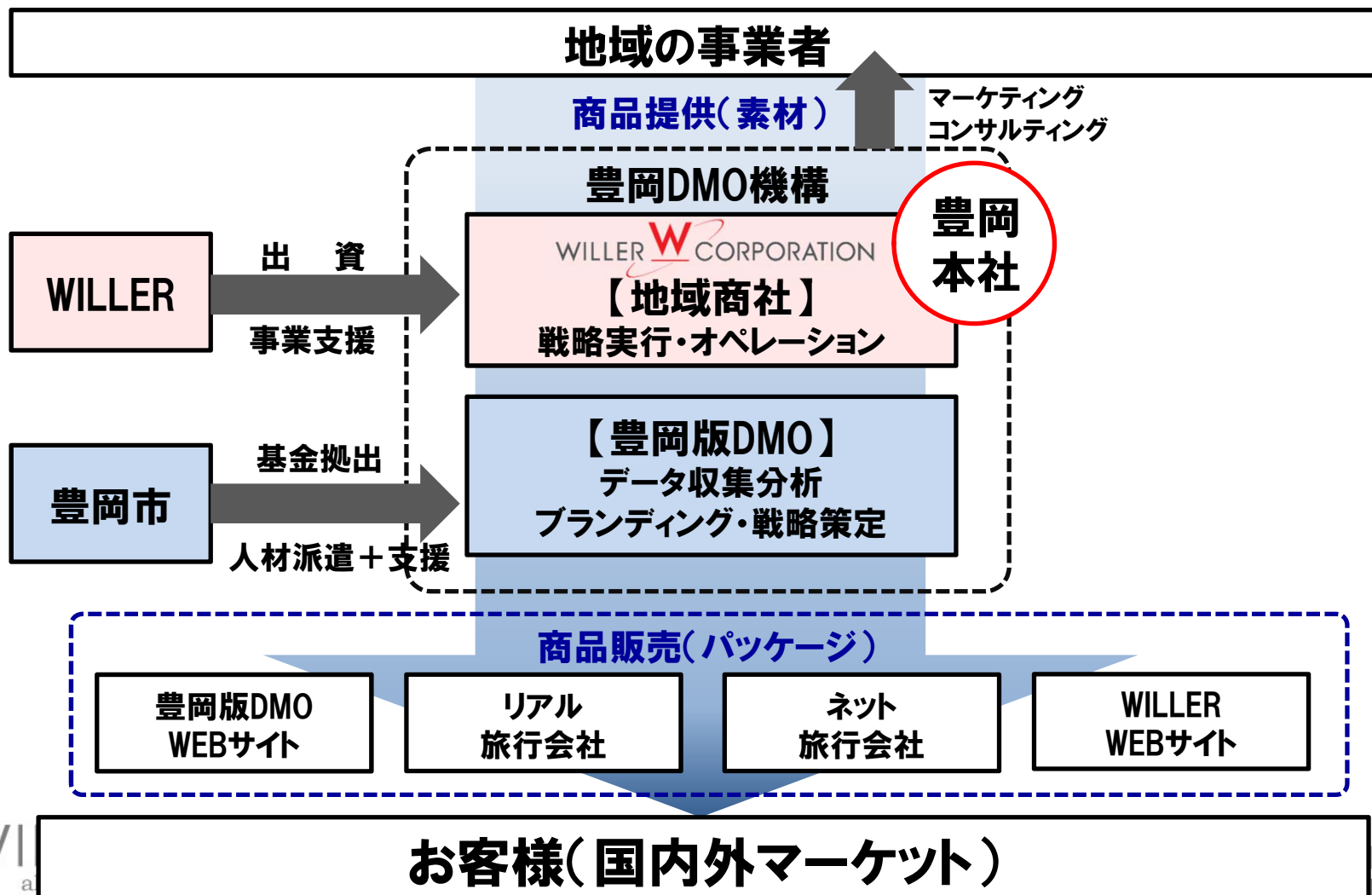
- 家族連れをターゲットにキャラクターを使ったイベントを実施。
- 周辺の商店でも子供向けのコンテンツを展開し、人々がまちに繰り出すきっかけを提供する。



# 今後の取り組み

## ④【豊岡】コールセンター(日本語)・ITセンター

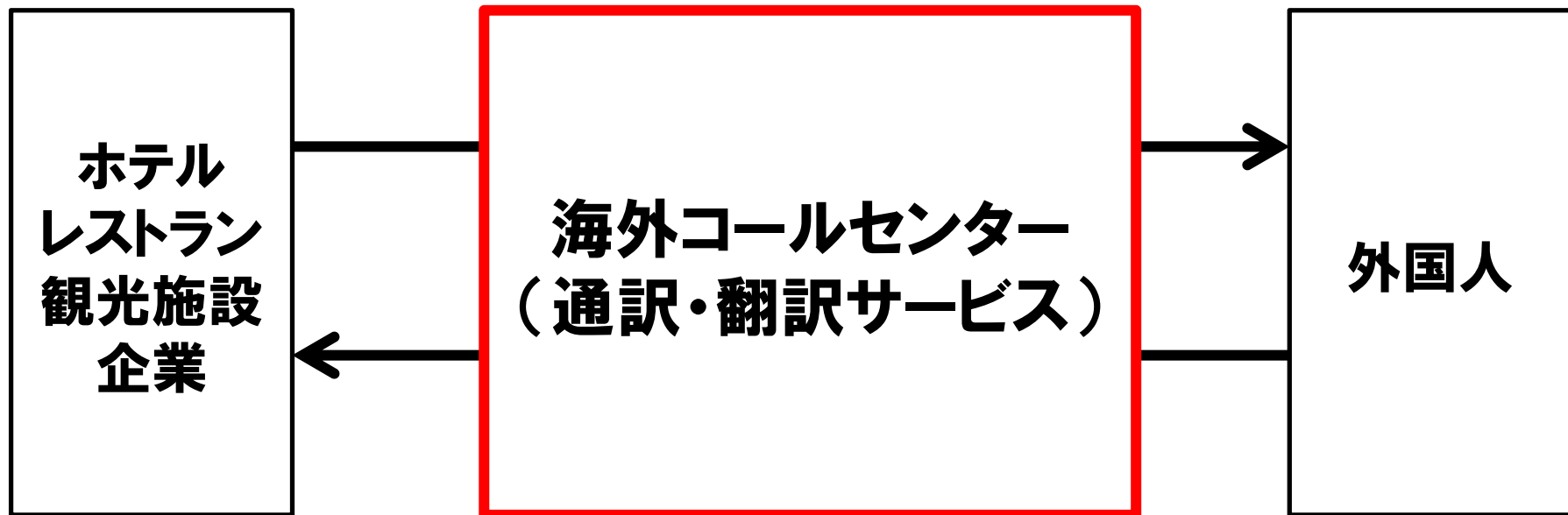
- ・豊岡にコールセンター(日本語)の設置や、地域の着地型観光、地域産品のデータベース化、移動マーケティングの分析を行う。



# 今後の取り組み

## ⑤【海外】多言語対応コールセンター

- ・海外にコールセンターを設置し、外国語対応を安価にサポートするサービスを提供する。



外国語対応を安価にサポート